

【学生用 LabVIEW のアクティブ化方法】

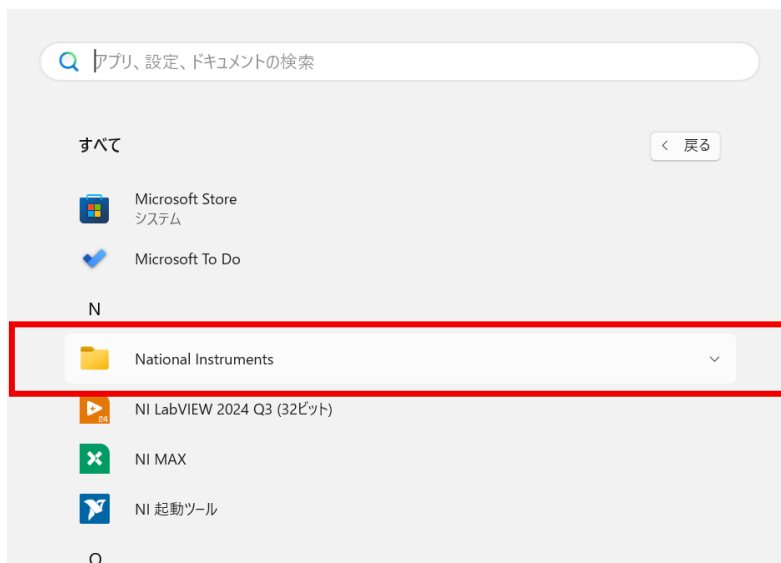
※LabVIEW をアクティブ化するには以下の手順で行ってください。

LabVIEW のソフトウェアがインストールされていない場合は「LabVIEW ダウンロードマニュアル」をご確認ください。

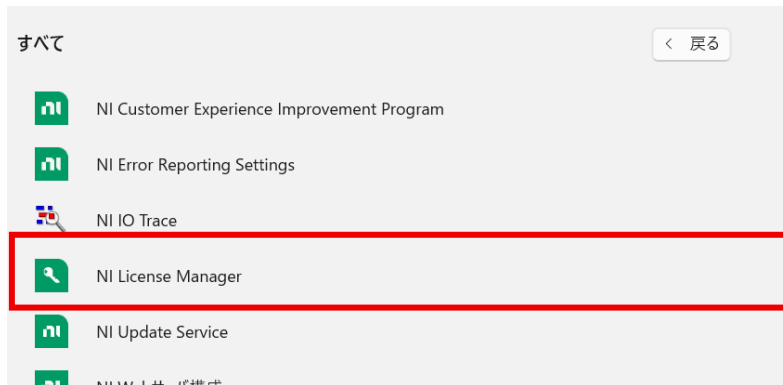
●最初にソフトウェアステーションにて LabVIEW のダウンロード申請を行い、申請が許可されましたらダウンロード画面の「利用規約」に記載してあるシリアル番号を使用し、以下の方法でアクティブ化を行ってください。

ソフトウェアステーションはこちら→ <https://software.k.hosei.ac.jp/others/>

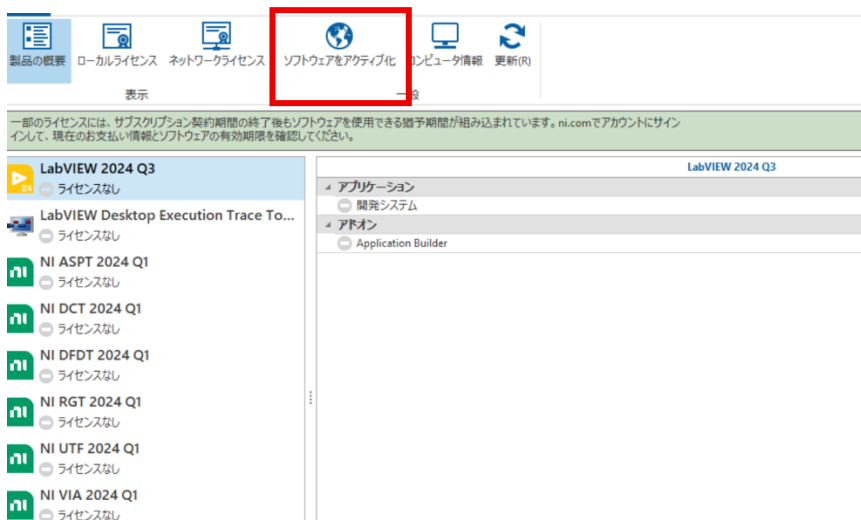
1. アプリ一覧から「National Instruments」のファイルを選択する。



2. 「NI License Manager」を起動させる。



3. 「ソフトウェアをアクティブ化」を押下する。



4. LabVIEW の自身のアカウントにログインをする。

※アカウントを持っていない方は以下のサイトにてアカウント作成を行ってください。

<https://www.ni.com/ja.html>

ログインする前に、ni.comでNIユーザアカウントの設定を完了してください。

ユーザプロフィール

次へ進むにはログインしてください

電子メール

パスワード [パスワードをお忘れになった場合](#)

ログイン

5. ログイン後、ライセンスのアクティブ化が求められるので、「アクティブのライセンスを確認」の矢印をプルダウンする。

ソフトウェアをアクティブ化

asuka.hiratsuka.57@adm.hosei.ac.jp ログアウト

13個のライセンスが選択されています

このソフトウェアは無効です。ライセンスを更新してソフトウェアを再アクティブ化してください。
[サブスクリプションソフトウェアの管理方法を確認](#)

アカウントのライセンスを確認 ▼ アクティブ化

- LabVIEW 2024 Q3 Application Builder
- LabVIEW 2024 Q3 Base Development System
- LabVIEW 2024 Q3 Continuous Integration System
- LabVIEW 2024 Q3 Debug Deployment System
- LabVIEW 2024 Q3 Full Development System
- LabVIEW 2024 Q3 Professional Development System
- LabVIEW Desktop Execution Trace Toolkit 2024 Q1
- LabVIEW Desktop Execution Trace Toolkit 2024 Q1
- NI ASPT 2024 Q1 LabVIEW Advanced Signal Processing Toolkit

プライバシーステートメント キャンセル

6. 「シリアル番号を入力」を選択する。



7. 「Application Builder」または「Full Development System」の空欄にソフトウェアステーションから送られてきた利用規約欄のシリアル番号を入力し、「アクティブ化」を押下する。

※画像のシリアル番号、LabVIEW の年度はあくまで参考例です。



8. 「アクティブ化に成功しました。」という表示が出たら、終了をクリックする。



これで LabVIEW のアクティブ化は以上となります。アクティブ化完了後 LabVIEW のソフトウェアを

起動させ、正常に起動できるかの確認をしてください。